

千葉県議会議員

# 小宮清子のさわやかメール

小宮清子県議会報告版

No. 70

事務所 流山市平和台 2-4-3 広葉ビル 201  
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp

TEL・FAX 04-7159-3781  
URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com

# 平和こそ福祉の土台

2015年9月19日を忘れない。安倍政権が戦争法を国会において成立させた日です。敗戦から70年。再び戦争の惨禍を繰り返さないと誓い、戦争を放棄し、武力の行使を認めない憲法に支えられて平和を守ってきました。しかし戦争法が動き出せば、日本は戦争をする国になってしまいます。福祉・教育・環境・街づくり、人権等々の課題も平和であることが大前提です。2016年も、高齢者の介護、障がいのある人の地域での生活、児童虐待、貧困と格差の拡大に向き合い、「弱肉強食の社会をつくり出す政治を許さない」の覚悟を固めて働きます。

## 12月議会健康福祉常任委員会

児童虐待防止対策の推進を求めた施設の充実、整備、適正かつ十分な職員配置や相談支援体制の全会一致で採択されました。子どもの福祉の向上につながるよう、子どもの人権が守られるよう、この決議が具体化されなければなりません。  
〈質問〉この決議文に「虐待から守るために適切な対応策の構築、すなわち、一時保護所をはじめと

受けた子どもたちの一時保護所の整備、児童福祉士の増員へつながるよう頑張らなければならないと思います。  
※決議が後押しとなって、虐待を

## 生涯大学校指定管理者に植草学園

生徒が減少し続けている県生涯大学校の指定管理者が議案として提出されました。  
〈質問〉26年度の入学者、退学者の状況はどうですか。  
〈答弁〉入学者は1101人、定員は1710人なので入学率は64%。退学者は313名で16%。

〈質問〉今回指定管理者の募集にあたっての改善点はあるのですか。  
〈答弁〉講座に楽しみの部分を設ける。休日も開校する。退学した方の意見も含めてアンケートで在校生から伺った意見を取り入れていきたいと思う

## 決算反対 討論要旨

暮らし満足度日本一をめざす森田県政において税金が公正・公平・効果的に使われ、県民の暮らし、福祉が向上したのかという視点に加え、県民の命・健康・人権が守られているのかという視点を合せ決算をみてきました。

まず、こどもの命・人権は守られているのか。せっかく一時保護をしたのにその後家庭復帰した後、虐待により命をうばわれてしまう事件が続いています。平成24年の柏市での事件、平成27年の市原市での事件もそうです。「児童相談所は児童虐待に関しての行政措置権を有する専門機関で

ある責務を十分認識して、こどもの安全と福祉を守ることを最優先とすること」と社会福祉審議会でも指摘されていますが、その対応は不十分です。  
次は高齢者施策です。

特別養護老人ホーム整備の本県の状況は人口10万人あたりにして1401人ということですが、全国ワースト2位。65歳以上人口1人当たりの老人福祉費は全国最下位。これでは高齢者の安心は得られません。

女性の人権・命を守る視点からDVへの対応の問題を述べます。平成26年度、DVから逃れ、女性サポートセンターに駆け込み、再びDV原因者のもとに戻ることは、本人の選択とはいえ、恐ろしく不安なはず。

次に県立病院において、子ども病院20床、佐原病院30床の非稼働病床があり、子ども病院は看護師の不足、佐原病院は医師確保が難しいとのこと。東千葉メデイカルセンターに県は15名の看護師を派遣しているが、派遣の解消時期について不明というのは、

県として無責任な対応です。佐原病院の耐震化や循環器病センターの職員の宿直部屋をはじめとした施設整備の予定も立たず、救急医療センターと精神科医療センターの老朽化による合築についても依然として進んでいません。県民の命、健康を守る最前線としては不安な状況です。

平成26年度県営住宅の強制執行は22件です。銚子市でおきた県営住宅退去、強制執行時に母子家庭の母親が一人娘の中学生を殺してしまおうという事件が起きました。当然、家賃の滞納があれば生活はどうなっているのだろうか、仕事はしているのだろうか、相談支援機関に行っているのだろうか、と思われないものでしょうか。強制執行では、裁判所の執行官が立ち入って執行することになるが、委託業者と一緒に荷物等を搬出することになる、との説明を頂きました。追い出された先に何が、住まいを無くすことは生きていけない、子どもを殺さなければならぬ程の失望につながることを受け止め、二度とこのようなことのないよう、関係機関の親身な対応が必要だったのでないかと申し上げて、討論いたします。



暑くても寒くても雨天以外の平日の朝は必ず市内どこかの駅で街宣を行っています

**無料法律相談**  
一人で悩まずご相談下さい  
毎月第4土曜日午後2時～4時  
平和台 2-4-3 社民党事務所  
(できましたら事前にご連絡下さい)  
相談日以外でも弁護士への相談を受け付けます。

**法律相談** 法律を必要とするどのような問題にでも直接弁護士が相談に応じます

**市民相談** 福祉、教育、環境、地域の諸問題など

04-7159-3781 (社民党事務所)  
090-8431-8107 (小宮携帯)

# 2014年度決算委員会から

## 防災危機管理部

### 進まない自主防災組織

〈質問〉本県の自主防災組織のカバー率の状況はどうか。  
 〈答弁〉26年4月1日現在で58.8%。全国平均は80.0%であり、全国都道府県中43番目。  
 ※県内市町村の自主防災組織のカバー率は100%から数%と差があり、全体として設置が進んでいません。県は設置促進に力を入れて取り組むことを要望。

## 商工労働部

### 幕張メッセ大規模改修に150億円

〈質問〉幕張メッセ大規模改修の時期と財源はどのくらいですか。  
 〈答弁〉平成28年度からと

### 正規労働者としての雇用促進を

〈質問〉若者就労支援ジョブカフェ千葉の26年度の利用状況

はどうか。  
 〈答弁〉利用者数は31270名。就職決定者数4771名。うち正規雇用は2546人。

〈質問〉障がい者就業体験雇用促進事業の決算額は6706万6千円でしたが、実績はどうでしたか。  
 〈答弁〉35名就職し、正規は1人。非正規は34名。

※今や全労働者の4割が非正規雇用。労働者派遣法も改悪され、企業だけが低賃金・無権利の使い勝手の良い労働者を使うことが出来る。ますます生活困窮者は増え続け貧困が拡大していく。

## 総合企画部

### 女性の審議会への参画も全国最低レベルから脱せず

〈質問〉県第3次男女共同参画計画において、審議会への女性の参画が遅れています。女性委員ゼロという審議会の数はどうですか。  
 〈答弁〉女性委員ゼロは二つ。

※計画では目標値40%。しかし平成26年度29.7%。全国的にみても45位、46位あたりをうろろしています。

## 環境生活部

### 法定検査と保守点検は違います。水の浄化は浄化槽検査と保守点検から

〈質問〉浄化槽の法定検査の受検率はどのような状況ですか。

〈答弁〉7条検査が61.8%で全国ワースト1位。11条検査が7.7%で全国ワースト3位。

〈質問〉浄化槽が適正に動いていることが水質保全の立場から重要な事ですが、この間改善されていないのはなぜですか。  
 〈答弁〉法定検査の他に保守点検があり、保守点検と法定検査の違いを理解していただけない設置者がいる。

※浄化槽法という法律があります。7条検査は浄化槽設置後の3ヶ月から5ヶ月以内に行う検査。11条検査は毎年1回の定期検査。平成25年度、流山市の7条検査は67.7%。11条検査は5.1%。もともと市民に浄化槽法定検査の必要性を広報しなければいけません。

## 県警本部

### まだまだ発生ストーカー事件

〈質問〉ストーカーの実態はどの様ですか。  
 〈答弁〉平成26年中の認知件数は600件、検挙件数は24件。

〈質問〉携帯用緊急通報装置の活用実践はどうか。  
 〈答弁〉被害者支援用として、現在は50台所有。貸出累計人員は平成26年が142人。

〈質問〉知的な障がいの方が何らかの犯罪で取り調べを受けた時、障がいへの理解が必要と思うが、現在の対応状況はどうですか。  
 〈答弁〉取り調べに際しては、相手に十分に理解してもらえようよう平易な言葉で質問するとともに相手の話をよく聞くよう配慮している

# つくりたい。こんな未来、こんな社会！

は全国どこでも、候補者名で投票できます。多くの人達と一緒に、政治を変えていきます！

## 政治を市民に取りもどす

2015年9月19日、国民の反対の声を押し切り、戦争法案を強行採決した安倍政権。

しかし、これは終わりではなく、新しい始まりです。

国会の中では議員が、外では無数の「私たちが声を上げ続けたあの夏。政治と市民が一気に近づいた瞬間を、多くの人々が体感しました。

地殻変動は、止まることなく、今も続いています。

憲法違反を繰り返す内閣に従う必要はありません。私たちが主権者です。

今こそ、政治を、変えていこう。時間はかかるかもしれないけれど、一緒に民主主義をバージョンアップしていこう。

平和憲法は大切な宝物、戦争しない国であり続けよう。

一人ひとりがそれぞれの場所で人間らしく暮らせる社会を、一緒につくって行きましょう。

## ■格差と貧困をなくすために

●同じ仕事をしていれば賃金・待遇が同じなのは当たり前。女性も男性も安心して子育てできる賃金・働き方に。

●返済義務のない給付型奨学金をつくり、無利子奨学金を拡充し、全ての子どもの学びを保障。将来は大学無料化を目指します。

●消費税を上げ法人税を下げる政策は格差を拡大するばかり。消費税を上げず、大企業には法人税を納めてもらいましょう。

●年金積立金を株につぎ込むことをやめ、安心できる年金をつくります。

## ■核も原発もない持続可能な社会へ

●核兵器廃絶条約をつくり、日本が世界の核兵器廃絶の先頭に。

●脱原発に政策を転換し、これ以上の核のゴミを増やさず、原発事故の収束、再生可能エネルギーの促進に全力をあげます。



## 全国比例区

社民党副党首・参議院議員

## 福島みずほ

### 2016年7月。いよいよ参議院選挙！

2015年、たくさんの新たな出会いがありました。うれしく心強い再会もありました。民主主義は、私たち一人ひとりの手の中にある。一人ひとりの思い、ことば、行動の中にある。国会の中と外で、それが実感できた年でした。この大きな地殻変動とシンクロしながら、時代を生き抜いていきたいと、決意を新たにしています。私は、参議院議員選挙（全国比例区）の候補者として公認されました。比例区